

書いたら書いただけの

経験 成長 価値 が得られるのが「**IBM ユーザー論文**」です。来年5月の「**IBMユーザー・シンポジウム 福岡大会**」での発表を目指し、**あなたも論文を執筆してみませんか**

論文応募申込締め切り

2011年 **10/31** [月] **17:00** [厳守]

※「応募」をしないと、提出ができません。論文執筆・提出のための「登録」です。

論文提出締め切り

2012年 **1/13** [金] **17:00** [厳守]

論文執筆にチャレンジして、知恵の蓄積に参加を

平成23年度
全国IBMユーザー研究会連合会
論文委員会 委員長
皆上 秀樹
日信電子サービス(株) [関東研]

IBMユーザー研究会(U研)が取り組んでいるユーザー論文は、私たちの情報技術への新たなアイデアや知恵を蓄積し、多くの仲間と共有・活用して、会員同士のさらなる価値の向上を目指すものです。

これまでに発表されたユーザー論文や研究事例などのさまざまな成果は、U研ホームページの「電子図書館」に蓄積され、ユーザー会員向けに公開されています。これらの優れた研究成果は、皆様の日常業務に何らかのヒントや改善のきっかけを与えてくれることでしょう。

これまでの知恵の蓄積を活用していただくとともに、ぜひ皆様も論文執筆にチャレンジして、この知恵の蓄積に参加してみませんか。

皆様の周辺には、日頃の業務の取り組みにおける成功事例、時には失敗した事例など、明日への糧となる素晴らしい経験や工夫がたくさん存在していると思います。自分が経験したプロセスや見いだしたアイデアなどを、自分以外の人に正確に伝えることは容易ではありません。しかしユーザー論文の執筆経験が、多くの仲間と知恵を共有する一助になることは間違いないでしょう。

論文委員会は、2012年5月に福岡市で開催される「第50回 IBM ユーザー・シンポジウム」を、ユーザー論文の成果発表の場として、シンポジウム実行委員会と協調して活動していきます。ユーザー論文を通して、皆様とともに、知恵の蓄積と活用を進めていきましょう。

論文を書くときのヒント!

◎論文ホームページ (<http://www.uken.or.jp/ronbun/>)
「論文作成に役立つヒント」と題して、「企業論文の書き方」セミナーの内容を、Webcastで動画配信しています。◎e-ラーニング
e-ラーニング (<http://www.uken.or.jp/e-learning/index.shtml>)でも、「論文の書き方(基礎コース/上級バック)」を受講していただけます。受講料は無料です。◎論文の書き方セミナー
下記地区研においては、「論文の書き方セミナー」を実施予定です。詳細は各地区研ホームページをご参照ください。

- ◆東北研 2011年10月6日(木) 午後
-
- ◆長野研 2011年10月7日(金) 午後

論文応募申込から
審査結果発表までの流れ

論文応募申込

2011年 9月～10月31日 [月]
17:00 [厳守]※「応募」をしないと、提出ができません。
論文執筆・提出のための「登録」です。

論文執筆

論文提出

2011年 12月1日 [木]～
2012年 1月13日 [金]
17:00 [厳守]論文選定委員による
一次審査

2012年 1月下旬～2月下旬

論文審査委員による
二次審査

2012年 2月下旬～3月下旬

審査結果の発表

2012年 3月末

IBM賞

特別賞 50万円(0～1編)

金賞 25万円(1～4編)

銀賞 15万円(1～14編)

銅賞 7万円(15～25編)

努力賞 図書カード1万円分
(上記以外の提出論文のうち、論文の体裁等で「論文執筆要領」を満たしたものを)

「応募要項の詳細」と「応募申込」は、論文ホームページから

<http://www.uken.or.jp/ronbun/>

応募要項

◎応募区分

【事例型論文】

論文のテーマ設定は自由ですが、以下のような情報システムに関するテーマとします。

情報システムの開発、構築、運用などにかかわる事例や取り組み等の手法、提案、考察。特に、情報技術の蓄積に役立つ実証的な事例で、日常活動等の成果や生産性の向上、標準化の促進、品質の向上など、他ユーザー研究会員の参考になる経験事例を、論文としてまとめてください。

【提言型論文】

情報システムにかかわるテーマで、実際の取り組みの有無にかかわらず、「やればこうなる」あるいは「こうすれば良かった」という新しい創意・工夫・知見など、自身(自社)の創造性に富んだアイデア・提言・主張を論文にまとめてください。

◎応募方法と応募締切

「応募」は、論文を提出するための登録です。

●応募締切 2011年10月31日(月) 17:00 厳守

※応募をしないと「提出」できません。必ず、上記締切期間までに応募を行なってください。

◎提出方法と提出締切

論文一式(論文・顔写真)を、論文提出サイト上にアップロードしてください。

●提出締切 2012年1月13日(金) 17:00 厳守

◎原稿量

【要約】

文字数は1,000字以上1,200字以内

(A4 1ページ/横組み 1行44文字×27行/MS明朝 10.5P)

論文の要点が分かるように、また主張のポイントを独立して読めるように簡潔に書いてください。

【本文】

文字数は5,000字以上15,000字以内

(A4 /横組み 1行44文字×37行/MS明朝 10.5P)

図表は別に15枚以内とします。

図表や写真はカラーでも構いませんが、コピーの関係上、白黒となる場合があります。

◎原稿の形式

論文(本文・要約)は、ワープロソフト(MS-WORD)で作成してください。

◎提出に当たっての条件および注意事項

①執筆者は1論文当たり2名までを限度とします。(代表執筆者・共同執筆者)

②論文応募/提出前に必ず上長の承認を受けてください。

③論文は未発表のものであることを条件とします。既発表論文の応募および二重投稿はできません。

④過去に提出した論文を改良して再提出する場合は、要約にその旨を明記してください。

例)第XX回「**提出済みの論文タイトル名**」を改良して再提出。

⑤他の文献を引用する場合は、必ず出所を明記してください。

⑥ご提出いただきました論文の著作権は、全国研に帰属するものとします。提出された論文の無断転載・複製は禁じます。

論文審査

論文委員会ならびに論文審査委員会では、下記の観点から審査し、授賞対象論文を選定します。

※論文区分により、評価項目が下記のように異なります。

◎事例型論文の審査

●貢献度

自社貢献は当然のこととして、自社以外にも有効で貢献度が高いことを重視します。

●独自性/先進性

全体を通じて独自の考え方がみられ、情報システムに関して新しいアイデアが盛り込まれているか、情報システムの将来方向を先取りし、内容および成果に先進性があることを重視します。

●実証性

技術的裏付けおよび費用対効果が明確に述べられ、現在および近い将来に具体化され、その効果が実証されることを重視します。

●表現力

文章の構成が良く、分かりやすさ、読みやすさ(図表の使い方、誤字脱字がない、字数を守る等)、論文としてのまとまりがあり、起承転結が

明確なことを重視します。

◎提言型論文の審査

●先進性

情報社会における今後の方向を示唆する新しい考え方、方法、手段が明確に述べられ、情報システムの将来方向を示唆、明確に提言していることを重視します。

●有効性

情報システムにかかわる分野等の発展に寄与できるといった、有効性が認められることを重視します。

●実現性

単なるアイデアではなく、情報システム分野において近い将来、実現可能となる、もしくは実行可能となることが認められることを重視します。

●表現力

文章の構成が良く、分かりやすさ、読みやすさ(図表の使い方、誤字脱字がない、字数を守る等)、論文としてのまとまりがあり、起承転結が明確なことを重視します。

表彰

◎全国研表彰(賞状の贈呈)

入賞論文(特別賞、金賞、銀賞、銅賞)に対し、「全国研会長名の賞状(盾)」を一論文あたり執筆者宛に1枚贈呈します。なお、共同執筆者がいる場合は、2枚贈呈します(2名併記)。

◎IBM賞の贈呈

特別賞、金賞、銀賞の最終審査は、論文審査委員会で行ないます。

特別賞 50万円 0~1編 銀賞 15万円 1~14編
金賞 25万円 1~4編 銅賞 7万円 15~25編

また、上記以外の提出論文のうち、論文の体裁等で「論文執筆要項」を満たしたのに対し、努力賞(図書カード:1万円分)をお送りします。なお、努力賞の中から論文委員会で討議・決定した20編程度の論文は、「奨励賞」として入賞論文同様、ホームページで公開させていただきます。

◎IBMユーザー・シンポジウムへのご招待

①入賞論文(特別賞、金賞、銀賞、銅賞)の代表執筆者を、2012年5月に福岡市で開催される「第50回IBMユーザー・シンポジウム」へご招待します。

②特別賞、金賞、銀賞を受賞された論文は、シンポジウム会場で発表をしていただきます。

③銅賞を受賞された論文は、「ポスター論文発表」として、シンポジウム会場で発表をしていただく予定です。

◎入賞論文および奨励賞論文のホームページ掲載

入賞論文および奨励賞論文は、2012年5月開催のシンポジウム終了後、「第50回IBMユーザー・シンポジウム論文集」として、ホームページに掲載します。

問い合わせ先

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21 日本IBM箱崎本社内(HZ-AT1)

全国IBMユーザー研究会連合会 論文委員会 事務局:竹内 e-メール:ronbun@uken.or.jp Tel: 03-3808-5165 Fax: 03-3664-4766

「応募要項の詳細」と「応募申込」は、論文ホームページから <http://www.uken.or.jp/ronbun/>